

平成21年第2回(21.7.2)「子育て支援専門部会」で頂いたご意見(概要)

遊び場の確保について

ご 意 見	対 応
ジャブジャブ池は7～8月の期間限定か？ → 9月もというのは大人の基準で、1～3歳の子どもにはどうかと思う。	・夏休み期間を中心として、水温や気温から開設期間を設定しています。今年度は、総合スポーツセンター等の屋外プールと開設期間が一緒になっています。 (開設期間：7月15日から8月31日)
公園マップには、公園の特色や対象年齢などが載っているとよい。	・平成13年3月に作成した「足立区公園 おでかけマップ」等を参考として、既に発行されている各種マップの整理統合を図りながら、公園マップの改定を検討します。
バリアフリーが進んでいなく、車いすやベビーカーでは行きにくい。	・バリアフリー化は進めていますが、経費面で全ての箇所のバリアフリー化は困難な状況です。要望の強い公園については、個別に検討いたします。
公園の数は多いが、1つひとつは小さいと感じる。	・現在策定を進めている「公園整備基本計画」の中で、平成5年に策定した「公園基本計画」の見直しを進め、公園の配置や再編、整備の内容や管理運営について、再検討しています。 このような中で、遊具を撤去した後は、遊具の形態や配置上の基準に沿って、安全上に配慮しながら、順次遊具を設置する等の対応を行っています。 また、パークエンジェルの活用で、遊びの見守りなど充実した展開を図っていきます。 公園利用者が他の利用者と利用調整しながら、自己責任において多様な利用が進めば、活用が促進されるのではないかと考えます。
遊具の撤去が進んでいてそのままになっている。	
アスレチック・雲梯・登り棒などがあるとよい。	
どこの公園に行っても同じ感じがする。オンリーワンの公園があってもよいのではないか。	
小学生が遊べる公園が少ない。むしろ、遊具がなくてもよい。	
道路を通行止めにして遊び場を確保するなどはどうか。	・地域のイベントの一環などで、警察の道路使用許可と道路管理者の道路占用許可を受けて実施することは可能です。

父親の育児参加

土曜日の子育てサロンの半数は父親がきている。幼稚園やファミサポのお迎えも父親が増えている。	子育てサロンの土曜日開設は、従事者がボランティアのため難しいが、引き続き検討していきます。
関係部署がお互いに連携することが、まず一番なのでは、と思う。	子ども施策推進会議が、まさに共通認識の場と考えます。
父親講座などを実施するよりも、親子で自然体験ができるものやワークショップ的な事業を実施すればいいのではないか。	「父子ふれあいイベント」は年間2回ほど男女共同参画課と子ども施策推進担当で共催しているが、今後拡充にむけて検討します。
父子でからだを使って遊ぶイベントのようなものを実施してほしい。	
親父の会が広がるとお父さんの育児参加が広がると思う。予算がなくて動いている会が多いと思う。区の支援ができないか。	・親父の会は地域により温度差がある。それを連合体にするよりは、緩やかな集まりから始めたほうがよいと考えています。
親父の会の人たちも模索しているのではないか。情報交換ができるといいのではないか。	

